

宮医発第 112 号
令和 3 年 5 月 18 日

参議院議員 松下 新平 様
参議院議員 長峯 誠 様

宮崎県医師会長 河野 雅行
(公 印 省 略)

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望・意見について

先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症から国民のいのちを守るために日々ご尽力をいただき感謝申し上げます。

令和 3 年 5 月 13 日付でいただきましたワクチン接種についての要望・意見等の調査につきまして、本会から下記の通り回答いたします。

どうぞよろしく願い申し上げます。

記

1) 医療従事者の派遣について

高齢者に対する予防接種を 7 月に完了するとした国の方針に沿うよう、県行政も計画見直しなどを急速に進めている。一方で現場の市町村と郡市医師会からは戸惑いの声が多く聞かれ、7 月完了を達成するためには、休日の接種も視野に検討が進んでいるが、特に医療従事者数の少ない圏域では、集団接種会場への県からの人員派遣を希望する声が挙がっている。

2) ワクチンの個別配送について

同じく 7 月に完了させるために、さらに個別接種をする医療機関を増やす必要があるが、きめ細やかな個別配送ができる体制構築が必要である。

3) 薬剤師の協力について

ワクチンを希釈・分注する作業に時間がかかるため、特に集団接種会場において薬剤師の協力が望まれる。

4) 情報共有の仕組みについて

集団接種会場で 1 日の接種者数を増やすための工夫を各地で行っているが、互いに参考にするための仕組みが無く、孤軍奮闘している状況である。都道府県を超えて好事例の共有ができる体制が必要と考える。

5) コールセンターの体制強化について

ワクチンに関する様々な問い合わせやクレームが、医療機関に殺到している状況である。行政が設置するコールセンターにつながらないからかけたという声も聞かれる。コールセンター体制強化をお願いしたい。

6) ワクチン接種に協力する医療機関への支援

ワクチン接種を加速させるため、土日も含む時間外の接種に対応したり、集団接種会場へのスタッフ派遣に協力する医療機関に対し十分な財政支援をお願いしたい。